

長田集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成20年 4月23日

修正日：平成20年 8月19日

市町村名	大山町	組織名	明るい農村研究会
1 地区の範囲 大山町 長田地区			
2 地区の概要			
水田面積	40.17ha		
主な水田栽培作物	水稲、大豆、そば、ブロッコリー		
農家数	50戸		
認定農業者数	2経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	2経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・設立時期（規約等の制定日）【平成19年1月1日】			
	組織形態（該当形態に）	加入農家数	
【現状】前年度実績 （19年度）	・未組織 ・作業受託型 ・共同利用型 ・協業経営型	15戸	
【目標】事業開始翌年度 （21年度）	・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型	15戸	
4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標			
項目	【現状】	【目標】	
集積面積	10.53ha	19.48ha	
うち作業受託	10.53ha	19.48ha	
対象水田面積 A	38.81ha	38.81ha	
集積率 / A	27.13%	50.19%	
うち作業受託 / A	27.13%	50.19%	
注1) の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。 2) の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

1 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

<p>【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】</p>
<p>1 担い手の明確化及び水田利用集積目標</p> <p>当集落においても、高齢化等により、耕作放棄地が年々増加している現状にあります。同集落で、地域水田農業ビジョンに位置づけられた担い手農業者は2経営体あり、全て認定農業者であります。1経営体は水田面積1.3haを利用集積しているが養豚が主で集落営農に参加する予定はありません。残りの経営体が、私(入江輝文)自身であり、他2名の地域の農業者とともに、「明るい農村研究会」を立ち上げ、われわれが中心となって、地域の農作業を受託していき、農地を保全していく考えです。</p> <p>また、これから会社を退職される者に対して、組織への参画を呼びかけ、地域の担い手になってもらいたいと考えています。</p> <p>現在、当組織の構成員である3人が12戸の借地を管理しており、水稻、そば、大豆等を栽培しており、年々栽培面積も増えています。</p> <p>集落の農地を可能な限り集積し、不耕作地をゼロにするため、がんばっており、地域の活性化に努めたいと考えています。</p>
<p>2 水田作付け計画、生産調整の方針・具体策</p> <p>水稻については、町の生産調整を遵守しながら作付けし、転作田、とりわけ休耕になっている農地については、プロッコリー、大豆等のローテーション化を図り、高齢者が肉体的に無理なく有効利用を図れるよう活用したいと考えています。</p> <p>現在の水田面積を維持管理しながら、今後もさらに、収量・品質の向上を目指し、集落の活性化を図っていきたいと考えています。</p>
<p>3 農業用機械施設の効率利用</p> <p>田植え作業は受託者が補植作業、まぐらの田面の直し作業等の重労働が多く発生し、高齢者では肉体的に無理があり、苦勞されているのが実態であります。</p> <p>そこで、平成20年5月にまぐらの田面直し作業、元肥散布が同時にできる作業労力の少ない田植機を導入し、集落でより多くの田植え作業を受託できるようがんばっていきたいと考えています。</p> <p>また、既存の乾燥機を利用して、効率良い作業受託を行い、より多くの、中山間地域ならではの特色ある米を販売し、当組織へ一人でも多く参画してもらえよう、そして後継者を育成していく考えであります。</p>

農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月
乗用田植機	5条植	1台	1,700,000	平成20年5月